

取扱説明書

DAYTONA

品番：78595

NANO II^{ナノツー} ギアポジションインジケーター

GEAR

■ご使用前に必ずご確認ください■

このたびは、デイトナ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

●「保証書」は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、取扱説明書と共に大切に保管してください。

■ご使用前に、この安全上のご注意をよくお読みのうえ、正しくお使いください。取扱説明書内の注意事項は使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

■商品の保証については保証書の保証規定に沿って行っております。保証内容をご理解のうえ、この取扱説明書と一緒に保管してください。

※取扱説明書内の注意事項を守らずに本商品を使用した事による事故や損害について、当社では一切の責任を負いません。また、修理の際に生じる脱着工賃やその他諸費用につきましても、当社で一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

■安全上のご注意■



警告

要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。



実施

●本商品は運転に支障がないように確実に取り付けてください。身体や生命に危害を及ぼす事故を招く恐れがあります。

●使用中に異常が発生した場合は、直ちに使用を中止して車両を安全な場所に停車させ、お買い求めの販売店や弊社にご連絡ください。

●配線は結束バンド等でフレームにしっかりと固定してください。その際、ハンドル操作に支障がないよう確認しながら取り付けてください。また組み付け後は配線等を定期的に点検してください。点検を怠ると重大な事故やトラブルの原因となる場合があります。

●走行中は安全を第一に前方不注意にならないようにご使用ください。また、本商品は取り付け角度や天候の状況によってメーターが見えにくくなる場合があります。走行中に見えにくい場合でも非常に危険ですのでメーターを注視しないでください。

●本商品を公道で使用する場合は道路交通法を遵守して安全に運転してください。



感電注意

●取り付け作業前に必ずバッテリーのマイナス端子を外してから作業を行ってください。また使用しない配線は必ず絶縁対策を行ってください。取り付け方法を誤ると、ショートや感電の危険や車両火災の原因となります。



注意

要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

●この商品は直流 12V 専用です。バッテリーレス車両、及び 6V 車両、交流電装車両への取り付けはできません。

●作業を行う場合は、濡れた手での作業をしないでください。濡れた手で作業をした場合感電する可能性があります。

●本体に強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。

●本体をエンジン周りなどの高温になる場所に設置しないでください。ケースが変形したり、故障の原因となります。

●①メーター本体を⑥メーター固定用ブラケットに貼り付ける際に液晶面を強く押さないでください。液晶が割れる恐れがあります。液晶以外のふちの部分を押さえて貼り付けてください。

●本体にガソリンやブレーキフルードが掛からないよう取り付けしてください。また、その他のケミカルも使用しないでください。本体が変色する場合があります。



分解禁止

●本商品の分解や改造等は行なわないでください。防水性能を損ない火災や怪我、感電や故障の原因となります。分解や改造をされた場合、保証の対象外となります。予めご了承ください。

■安全上のご注意■



実施

●イモビライザー等の装着車は特にキーシリンダー周りへの配線にご注意ください。イモビライザーの誤作動やコンピューターの故障原因となります。

●本商品は取り付けに⑫結線コネクタを使用します。正しく接続できていない場合、正常に機能しなかったり、場合によって本商品や車両の破損につながる恐れがあります。取り付け時には配線場所の確認、通電の確認を行ってください。

●本体は純正メーターの視認を邪魔しない位置で、運転に支障が無いように取り付けてください。



水ぬれ禁止

●本商品は IPX6 相当の防水性能を備えておりますが、高圧洗浄器等の直接洗浄は行なわないでください。保護等級条件を超える水圧を受けた場合は内部に水が浸入する場合があります。(IPX6・・・あらゆる方向からの強い噴流水による有害な影響がない)



その他

●組み付け作業には車体のサービスマニュアルと専門の知識が必要です。ご購入店またはオートバイ販売店で熟練した整備士に作業を依頼してください。

●取り付けは確実に行ってください。また、走行中ブラケットのネジ部等が緩まないように確実に締め付けてください。取り付け後、約 100 km 走行しましたら各部のネジ部の増し締めを行ってください。その後は約 500 km 毎必ず点検し、同様の増し締めを行ってください。

●エンジン周辺等、高温になる場所には装着しないでください。熱で内部電子部品が破損する恐れがあります。耐熱温度は約 60℃ です。

●この商品は初期設定を行う際、スタンド等で車体を上げた状態でエンジンを始動させタイヤに動力をつなぐ作業がございます。作業中は大変危険ですので、周りの安全を十分に確認し、車体が倒れたり、タイヤが接地しないよう十分に注意してください。安全確保のため、2 人以上で作業を行ってください。

●本商品は予告なしに価格や仕様を変更する場合があります。また文中に紹介した商品についても同様です。予めご了承ください。

■取り付け条件■

●本商品は、電気式スピードメーターを純正採用している車両専用品です。機械式スピードメーターを採用している車両（メーターギア&ケーブルを使用する車両）には取り付け出来ません。

※機械式スピードメーターから変換アダプター等を使用して取り付けるとスピードメーターの信号をうまく認識できず、初期設定が完了しません。

●その他、以下の条件に当てはまる車両では正常に動作しません。

・弱っているバッテリーを使用している場合。

※アイドリング時の電圧が安定して直流 9V 以上ないと正しく起動しません。

・バッテリーレス及び 6V バッテリー車。※12V 電装にコンバートしたモデルも含む。

・交流 12V 車。※APE100/50 (バッテリーレス車)、XR100M/50M、モンキー-R/RT/BAJA など。

・ポイント点火車。

・点火信号、車速信号にノイズが多い場合や波形に乱れが多い車両。

・車種固有の専用回路が採用されているなど、純正電気式スピードメーターの車速センサーから

0V-5V 交互パルス信号をピックアップできない場合。

※例) シャドウ系全モデルは純正電気式スピードメーター車ですが、0V-5V-12V という独自のパルス信号が採用されているため、本商品を使用できません。

・ニュートラル信号がない車両。(レーサー等)

初期設定について

本商品は、車体にそのまま装着しただけでは正常に作動しません。車両に取り付け後、全てのギアの設定を入力して使用可能となります。取扱説明書の各種初期設定で入力を行ってからご使用ください。

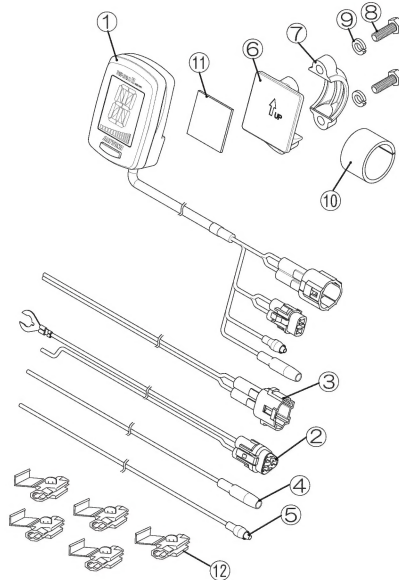
※オートバイ専用品ですが、汎用品のため車体の仕様によって取付できない場合もございます。予めご了承ください。

■使用上のご注意■

- 本商品は夏場の炎天下のもとでご使用されると、液晶パネルが黒くなる場合があります。これは使用している液晶パネルの許容温度を超えると起こる現象で、メーター本体の温度を下げる事で解消されます。これは商品の仕様であり、商品不良ではありませんので予めご了承ください。
- 出荷時、液晶面に保護フィルムが貼ってあります。このフィルムをはがす際に液晶面にスジのようなものが入りますが異常ではありません。しばらく放置すればこのスジはなくなります。
- 本商品は計測値に±の公差があります。同商品と比較した場合、表示の切り替えタイミング等が全く同じにはならず、表示が異なる場合があります。予めご了承ください。
- 本商品は高出力のH I Dや電装部品などを同時装着した場合、急激な電圧降下やノイズの影響により正常に動作しない場合があります。その他電装品の配線とは極力離して設置してください。
- 液晶の性質上、一定の角度を超えると表示が見えにくくなります。角度を調節して見えやすい角度で取り付けを行ってください。
- 走行中、クラッチを握ると入っているギアとは違うギアを表示しますが故障ではありません。

構成部品

NO	パーツ名	サイズ (mm)	数量
①	メーター本体		1
②	電源ハーネス	1200mm	1
③	スピードセンサーハーネス	500mm	1
④	RPMセンサーハーネス(黄色)	700mm	1
⑤	ニュートラルセンサーハーネス(白色)	700mm	1
⑥	メーター固定用ブラケット(上)		1
⑦	メーター固定用ブラケット(下)		1
⑧	ブラケット用ボルト		2
⑨	ワッシャー		2
⑩	ラバーバンド(φ22.2ハンドル用)		1
⑪	両面テープ		1
⑫	結線コネクタ		5

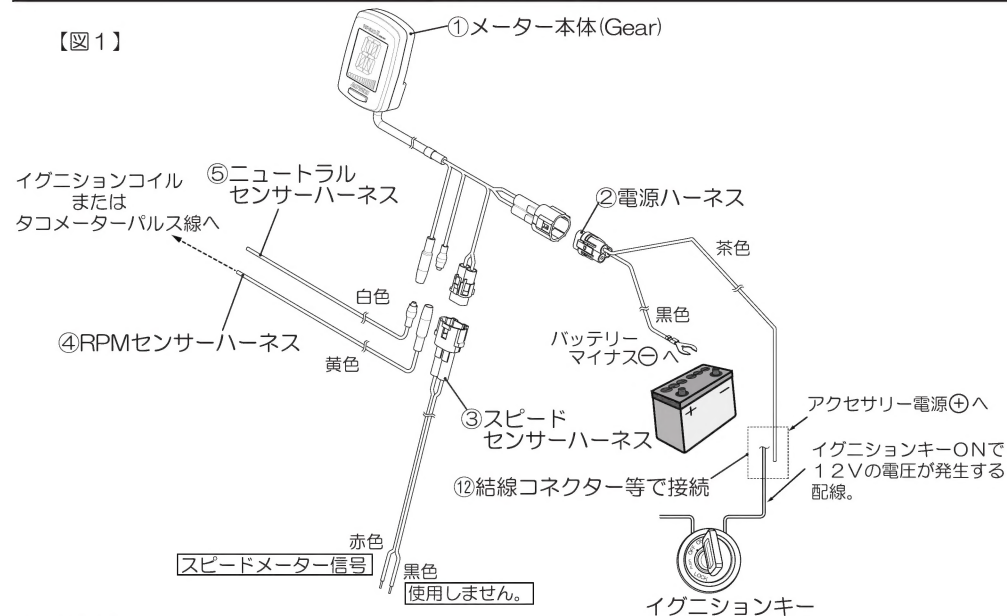


商品仕様

- 作動電圧：直流 9 ～ 16V
- 消費電流：約 20mA
- 寸法：H60×W40×D17.5mm
- 液晶：白色LEDバックライト
- 表示レンジ：ニュートラル(N)、1～8速
- TOPギア設定：4/5/6/7/8速(任意設定)
- バークラフによる回転数警告(任意設定)

■配線図■

【図1】



参考配線色

配線色	茶色線	黒色線	白色線	赤色線	黄色線
接続場所	アクセサリ電源⊕	バッテリーマイナス⊖	ニュートラルスイッチ	スピードメーター信号	タコメーター信号
HONDA	黒/茶 or 桃/青	緑	若葉/赤	桃/緑	黄/緑 or 黄/青
YAMAHA	赤/白 or 薄茶	黒 or 黒/白	空 or 空/白	白/黄 or 桃	橙/緑 or 黄/黒
SUZUKI	橙/緑	黒/白	青/黒	桃	黄/青 or 黒/黄
KAWASAKI	茶/白	黒/黄	若葉	桃 or 桃/青	赤/黄 or 青/白

※参考配線色は全ての車両に適合するとは限りません。仕向地や年式によって異なる場合がありますので必ず各車両のサービスマニュアルでご確認ください。

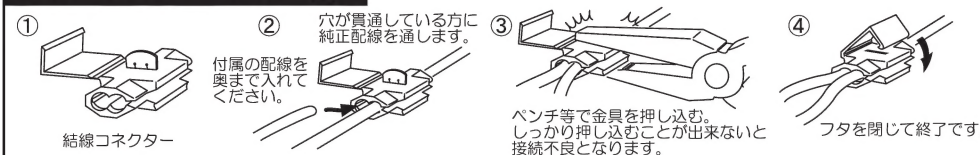
■取付方法■

- 商品の取り付けには車体のサービスマニュアルと専門知識及び技術が必要です。ご購入店またはオートバイ販売店で熟練した整備士に作業を依頼してください。
- 取り付け作業前に、必ずバッテリーのマイナス端子を取り外してください。ハーネスの結線中にショートすることがあり、感電の危険ばかりか車両火災の原因にもなりかねますので必ず行ってください。
- 作業を始める前に①メーター本体を配置したい場所に仮置きして配線の長さを確認します。

②電源ハーネスの取り付け

- ▼車体のアクセサリ電源(イグニッションキーONで12Vを発生する配線)に②電源ハーネスの茶色線を付属の⑫結線コネクタを使用して接続します。【図1】(結線コネクタ使用法は下図参照)
- ▼バッテリーのマイナス側に②電源ハーネスの黒色線(クワ型端子付)を接続します。

結線コネクタの使用法

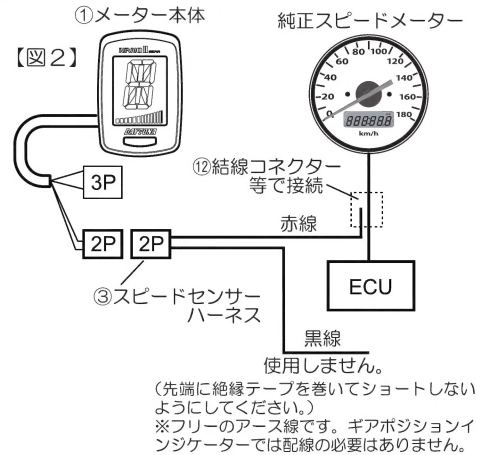


■取付方法■ ～続き1

③スピードセンサーハーネスの取り付け

▼③スピードセンサーハーネスの赤色線を車体側の純正スピードメーターからECUにつながる配線に⑫結線コネクタを使用して取り付けます。【図2】
黒色線は使用しませんので末端を絶縁処理して邪魔にならないようにまとめてください。

▼接続が済んだらHID等の高電圧配線避けて取り回し、①メーター本体の2Pコネクタに接続してください。



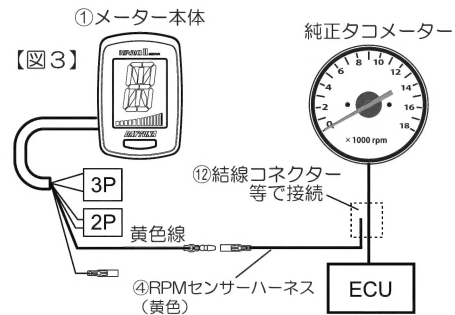
④RPMセンサーハーネス（黄色）の取り付け

※2通りの取り付け方法がありますが点火ノイズの影響を受けにくいECU（エンジンコントロールユニット）への接続をお勧めします。

●電気式タコメーター配線（ECU）から信号をとる場合【図3】

▼④RPMセンサーハーネス（黄色）を車体側の純正タコメーターからECU（エンジンコントロールユニット）につながる配線に⑫結線コネクタを使用して取り付けます。

▼接続が済んだらHID等の高電圧配線避けて取り回し、①メーター本体の黄色線ギボシ端子（オス）に接続してください。

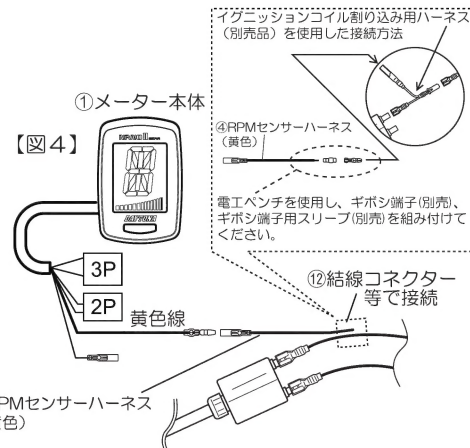


※ECUへの接続場所は車両毎で異なります。
車体のサービスマニュアルを参照し取付してください。

●イグニッションコイルから信号をとる場合【図4】

▼④RPMセンサーハーネス（黄色）をイグニッションコイルの1次側（+側）に⑫結線コネクタを使用して取り付けます。（別売のイグニッションコイル割り込みハーネスを使用すると純正配線を加工しないで取り付けることができます。この場合には別途、ギボシ端子、ギボシ端子用スリーブが必要になります。）

▼接続が済んだらHID等の高電圧配線避けて取り回し、①メーター本体の黄色線ギボシ端子（オス）に接続してください。



別売品

・イグニッションコイル割り込み用ハーネス 品番：64230 ￥1,000(税抜き)

・ギボシ端子セット（CA/CB104型 5個入） 品番：61937 ￥450(税抜き)

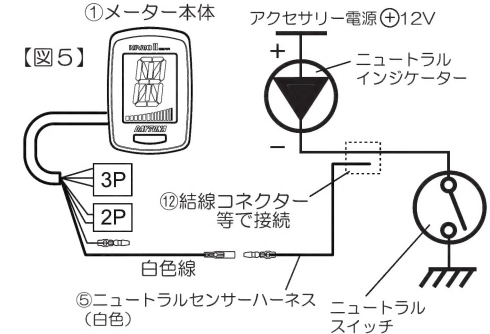
■取付方法■ ～続き2

⑤ニュートラルセンサーハーネス（白色）の取り付け

▼⑤ニュートラルセンサーハーネス（白色）を車体のニュートラルの信号線に⑫結線コネクタを使用して取り付けます。【図5】

※ニュートラルの信号線に取り付ける場合、ニュートラルランプのプラス側ではなく、マイナス側に取り付けるようにしてください。

▼接続が済んだらHID等の高電圧配線避けて取り回し、①メーター本体の白色線ギボシ端子（メス）に接続してください。

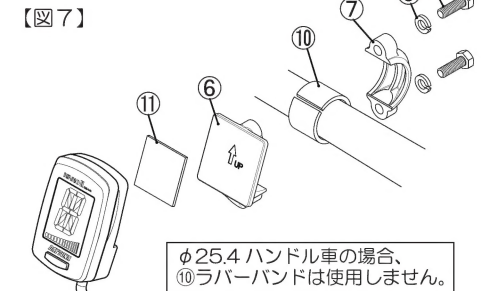
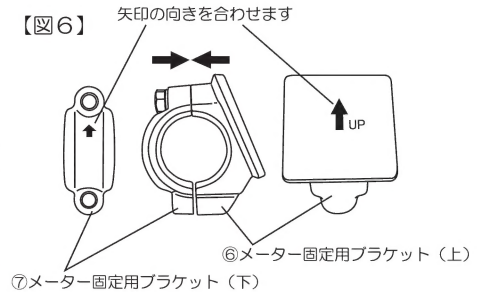


⑥メーター固定用ブラケットの取り付け

▼ハンドルバーのメーターを固定したい場所に⑩ラバーバンドを巻きつけて、⑥⑦のメーター固定用ブラケット（上下）の矢印の向きを合わせてハンドルバーに挟み、矢印の指している方から先に⑧ブラケット用ボルトと⑨ワッシャーで固定します。固定場所にあわせてレンチやドライバーを使用してブラケットが回らないように固定してください。純正メーターまわりの見やすい位置に取り付けてください。【図6,7】

▼ブラケットの位置が決まったら、各配線の取り付けが完了するまで①メーター本体を⑥メーター固定用ブラケット（上）に仮留めしてください。

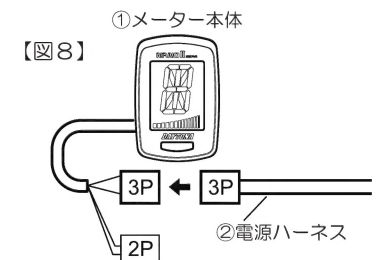
※上記はφ22.2 ハンドル車に取り付けるための説明文となります。φ25.4 ハンドル車に取り付ける場合は、⑩ラバーバンドを使用しないで取り付けしてください。



①メーター本体の取り付け

▼ブラケットの位置が決まったら、⑪両面テープを使用して①メーター本体を⑥メーター固定用ブラケットに固定します。固定したら①メーター本体と②電源ハーネスの3極コネクタを接続し、配線が車体等に干渉しないように配線の位置を確認します。【図7,8】

▼配線の取り回しが走行に支障ないか確認します。
車両運転中に、配線が引っ張られたり、部品の隙間に配線を挟み込んで断線したりしないよう、無理がかからない位置へ慎重に固定してください。



■各種初期設定■



注意

●この商品は初期設定を行う際、スタンド等で車体を上げた状態でエンジンを始動し、リアタイヤを回転させる必要があります。各種設定はセンタースタンド、またはレーシングスタンドを使用して十分に安全確認を行ってから行ってください。作業中は大変危険ですので、周りの安全を十分に確認し、車体が倒れたり、タイヤが接地しないよう十分に注意してください。安全確保のため、2人以上で作業を行ってください。

●設定中はエンジンに走行風が当たらないため、エンジンにかなりの負担がかかります。エンジンに負担をかけないよう短時間で作業を終えるか、エンジンを冷却しながら作業を行ってください。

ギアポジション表示の初期設定

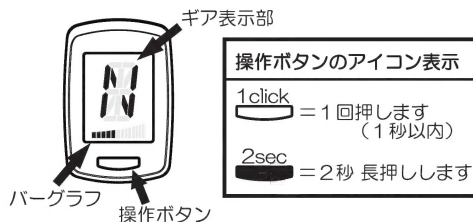
●車体をセンタースタンドまたはレーシングスタンドを使用してリアタイヤを浮かせます。(タイヤが回転しても接地しないように、地面とのクリアランスを十分にしてください。設定中は、スタンドが外れないように十分に注意してください。)

ワンポイント TOPギアの登録からギアポジションの登録は一連の流れになります。作業を開始する前に、事前に下記項目を一読しておくことで設定がスムーズに行えます。

▼車両のイグニッションキーをONにして①メーター本体を起動します。ギアがニュートラルになっている場合にはギア表示部に“N”が表示されます。“N”が表示されない場合は⑤ニュートラルセンサーハーネス(白色)の接続を確認してください。

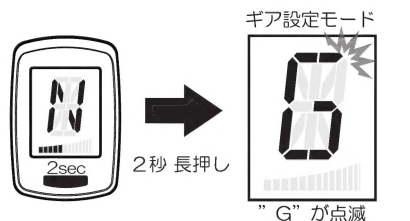
▼“N”表示を確認したらエンジンを始動します。

▼エンジン始動後、バーグラフがエンジン回転にあわせて表示します。バーグラフ表示しない場合には、④RPMセンサーハーネス(黄色)の接続を確認してください。

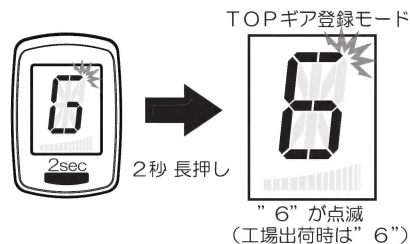


TOPギアの登録

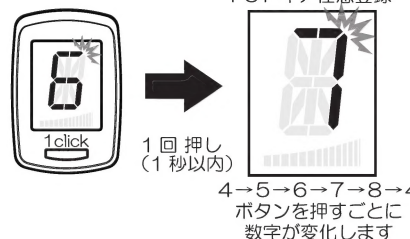
▼本体のボタンを2秒長押ししてギア設定モードに入ります。ギア設定モードに入るとギア表示部に“G”が点滅表示されます。



▼“G”が表示されたら再度ボタンを2秒長押ししてTOPギア登録モードに移ります。TOPギア登録モードに入るとギア表示部に“6”が点滅表示されます。“6”は工場出荷時です。2回目以降の登録時は前回登録した数字(TOPギア)を表示します。



▼数字が表示(工場出荷時は“6”)されたらボタンを数回押して(1回1秒以内)車両のTOPギアに合わせます。(例.4段変速→“4”)を表示)



引き続き、右頁のギアポジションの登録に移ります。そのまま右頁のギアポジションの登録へ進んでください。

■各種設初期定■ ~続き1

ギアポジションの登録 (TOPギア5速の場合)

▼本体のボタンを2秒長押ししてギアポジションの登録モードに入ります。ギア設定モードに入るとギア表示部に“1”が点滅表示されます。

“1”が表示されたらシフトペダルを操作し、車体のギアを“1速”に入れてください。そのまま回転数を2500~3500回転で維持します。

▼1速でのギアポジションを認識すると“—”が点滅表示になりギア情報を本体に登録します。登録が完了するとギア表示部に“2”が点滅表示し、次のギアの登録に移ります。

※(“—”表示中も回転数を2500~3500回転で維持してください。また、車体のギアも変更しないでください。ギア情報が正常登録されません。)

▼ギア表示部に“2”が点滅表示したらシフトペダルを操作し、車体のギアを“2速”に入れてください。そのまま回転数を2500~3500回転で維持します。2速でギアポジションを認識すると“—”が点滅表示になり、登録されると“3”が点滅表示になります。

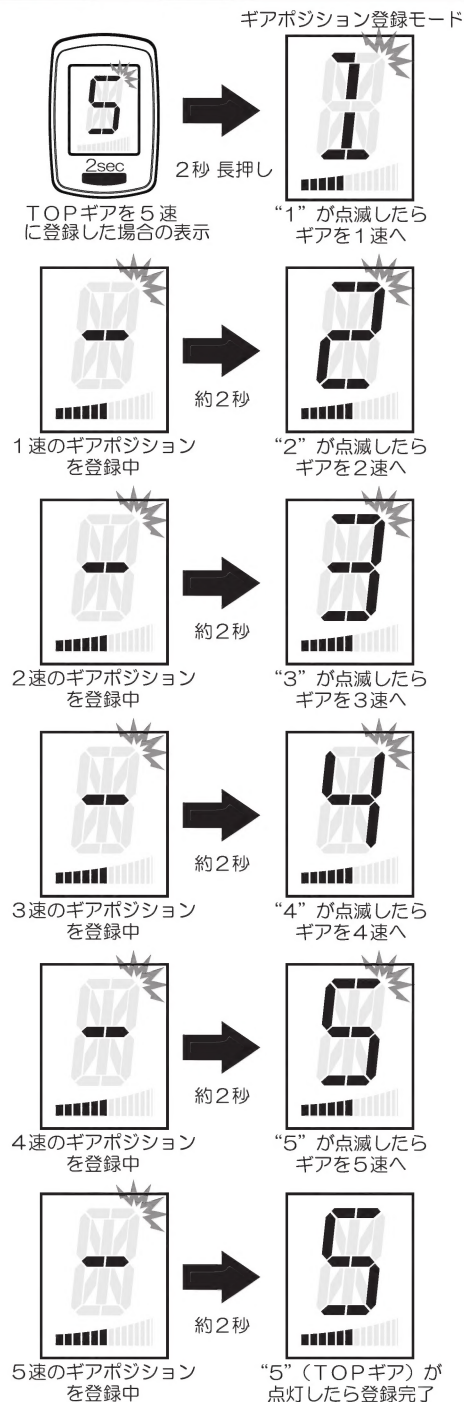
▼ギア表示部に“3”が点滅表示したらシフトペダルを操作し、車体のギアを“3速”に入れてください。そのまま回転数を2500~3500回転で維持します。3速でギアポジションを認識すると“—”が点滅表示になり、登録されると“4”が点滅表示になります。

▼ギア表示部に“4”が点滅表示したらシフトペダルを操作し、車体のギアを“4速”に入れてください。そのまま回転数を2500~3500回転で維持します。4速でギアポジションを認識すると“—”が点滅表示になり、登録されると“5”が点滅表示になります。

▼ギア表示部に“5”が点滅表示したらシフトペダルを操作し、車体のギアを“5速”に入れてください。そのまま回転数を2500~3500回転で維持します。5速でギアポジションを認識すると“—”が点滅表示になり、最終のTOPギアが登録されると“5”(TOPギア)が点灯表示になります。

▼TOPギアまで登録が終わるとギアポジション登録モードが自動終了します。各ギアに入れたときにギア表示が正しいか確認いただき、登録完了となります。

※この商品は、各ギアでの速度とエンジン回転数を読み取り、登録することでギアのポジション表示を行っています。ギア比が近い場合には走行速度によって上下のギアポジションを表示する場合があります。頻繁にギアポジションが切り替わってしまう場合、回転数を少し高めにして再設定しなおしてください。(3000~4000回転)



■各種設初期定■ ～続き2

シフトインジケーター（バーグラフ）の登録

●任意に回転数を設定することにより、バーグラフにてシフトアップのタイミングをお知らせします。

▼車両のイグニッションキーをONにして①メーター本体を起動します。ギアがニュートラルになっている場合にはギア表示部に“N”が表示されます。

▼“N”表示を確認したらエンジンを始動します。

▼エンジン始動後、バーグラフがエンジン回転にあわせて表示します。

▼本体のボタンを2秒長押ししてギア設定モードに入ります。ギア設定モードに入るとギア表示部に“G”が点滅表示されます。

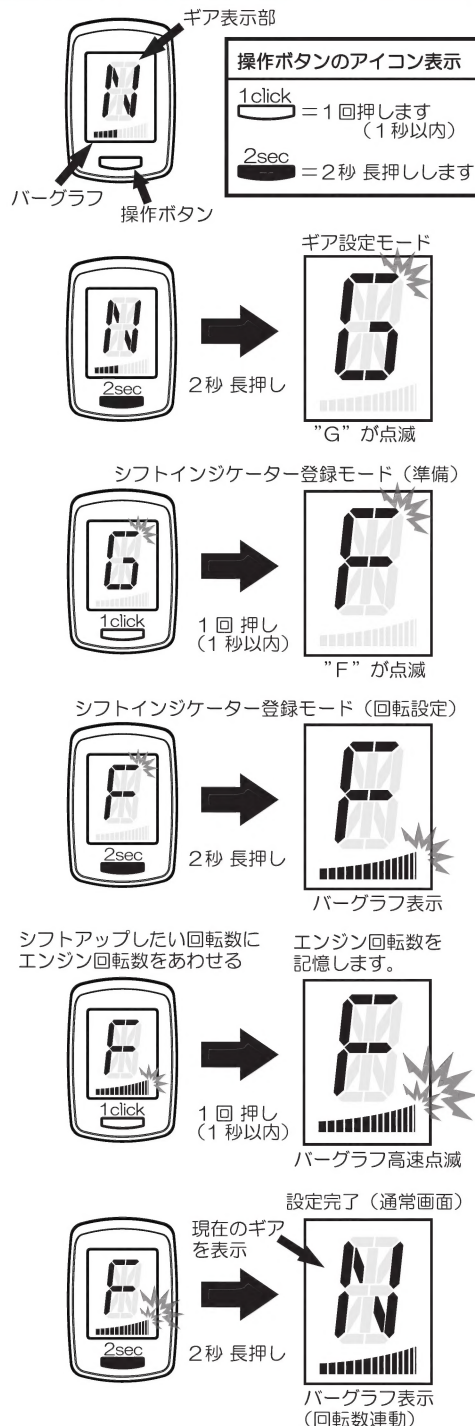
▼“G”が表示されたら、本体のボタンを1回押す（1秒以内）とシフトインジケーター登録モード（準備）に移ります。シフトインジケーター登録モード（準備）に入るとギア表示部に“F”が点滅表示されます。

▼“F”が表示されたら、本体のボタンを2秒長押ししてとシフトインジケーター登録モード（回転設定）に移ります。シフトインジケーター登録モード（回転設定）に入るとバーグラフが点滅表示されます。バーグラフが点滅表示をしている間にシフトアップしたい回転数にエンジン回転数を合わせます。

▼シフトアップしたい回転数にエンジン回転数を合わせたら本体のボタンを1回押す（1秒以内）と回転数を記憶します。記憶するとバーグラフ表示が高速点滅に切り替わります。（高速点滅に切り替わった後はエンジン回転を戻しても問題ありません。）

▼バーグラフ表示が高速点滅中に本体のボタンを2秒長押しするとシフトインジケーターが登録され通常画面に戻ります。（ギア表示部は現在のギアを表示、バーグラフはエンジン回転に連動して表示）シフトインジケーターの登録は以上で終了です。

○バーグラフ表示について
シフトインジケーターの登録時 3500 回転で設定した場合、3500 回転までエンジンを回すとバーグラフが全点灯します。それ以上エンジン回転数が上がった場合にはバーグラフが全点滅します。



■トラブルシューティング■

・本体の電源が入らない

電源が供給されていない可能性があります。

②電源ハーネスがしっかり接続されているか確認してください。茶色の線に 12V(アクセサリ電源)、黒線にアース(バッテリーのマイナス端子か、ボディアース)が供給されているか確認してください。ボディアースの場合はボディの塗装をしっかりと剥がして接続してください。

・電源を入れたと“—”表示になる

ニュートラル信号が入力できていない可能性があります。

⑤ニュートラルセンサーハーネス（白色）がしっかりと接続されているか確認してください。ニュートラルスイッチのマイナス側（アース側）に接続した場合は常に“N”表示となります。

・エンジンがかかってもバーグラフが動かない。

タコメーター信号が入力できていない可能性があります。

④RPMセンサーハーネス（黄色）がしっかりと接続されているか確認してください。電気式タコメーター配線（ECU）とイグニッションコイル1次側信号のどちらも信号が取れる場合には、電気式タコメーター配線（ECU）に配線することをお勧めします。

・ギアポジションの登録でギアがうまく認識されない。

スピードメーター信号が入力できていない可能性があります。

③スピードセンサーハーネスがしっかりと接続されているか確認してください。

車体ノイズを拾ってしまい、信号がうまく認識されていない可能性があります。

ひとつのギアで1分以上認識されない場合は、フラグコードやイグニッションコイル等のノイズによりスピードメーター信号、タコメーター信号がうまく読み取れていない可能性があります。フラグコードやイグニッションコイル付近を避けて配線を取り回してください。フラグコードやイグニッションコイル付近から配線を離せない場合には、配線をアルミテープ等で巻くなどしてノイズ対策を行ってください。

・走行中ギアポジションの表示が安定しない。

ギアポジションの登録が正常に行えていない可能性があります。

各ギアでの速度とエンジン回転数を読み取り、登録することでギアポジション表示を行っています。ギア比が近い場合、走行速度によって上下のギアポジションを表示する場合があります。頻繁にギアポジションが切り替わってしまう場合、回転数を少し高めにして再設定しなおしてください。（3000～4000回転）

・その他

クラッチを握っている際に入っているギア以外の表示がでる。

各ギアでの速度とエンジン回転数を読み取りギアポジションを表示しているため、クラッチを握り動力を切ると、登録したギアポジションデータとの照合が出来なくなるため違うギアを表示してしまったり、停車時には計測できずに“—”表示となります。クラッチをつなぎ、走行することで正しいギアポジションを表示します。

液晶画面が黒くなり表示が見えなくなる。

直射日光がメーターに当たり続けて本体内部が一定の温度を超えてしまうと液晶が黒化してしまう場合があります。液晶部品の性質上の問題で、商品の仕様となりますので、症状が発生した場合には日陰等でメーターの温度を下げていただくことにより改善します。

機械式スピードメーター車への取り付けはできません。

機械式スピードメーターケーブルを電気式に変換するアダプター等で接続した場合、スピードメーター信号がうまく入力できないためギアポジションの登録が正常に行えません。

東証JASDAQ上場

株式会社 **デイトナ**

〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮4805 ☎ 0120-60-4955